

やまねっと通信 第8号

2015・10

発行: 社会福祉法人やまねっと

〒242-0028 大和市桜森3-4-2 大和泉の森作業所内 TEL 046-264-2218

平成26年度事業報告と決算をお知らせいたします。詳細はホームページをご覧ください。

社会福祉法人やまねっと平成26年度事業報告

社会福祉法人として2年目を迎えた平成26年度は、障害者総合支援法の平成26年4月実施分が施行されました。ケアホームのグループホームへの一本化、障害程度区分の障害支援区分への見直し等がおこなわれ、あわただしいスタートとなりました。グループホームへの一本化に伴いやまねっとほーむ林間も共同生活介護から共同生活援助にサービス事業名が変わりました。報酬の見直しも行われ、報酬単価が変わり、宿泊体制による加算の変更等が行われました。サービス等利用計画を作成するための指定特定相談支援事業「やまねっと計画相談支援室」を4月に開所しました。またかねてより希望の多かった送迎を本格的に開始しました。しかし、すべて希望どおりにはいかないところもあり今後の課題となっています。

7月より大和泉の森作業所が就労継続支援B型と生活介護の多機能型から就労継続支援B型を廃止し、20人定員の生活介護に一本化しました。11月に大和市による法人指導監督が行われ、口頭による指摘を受けましたが、文書による指摘はありませんでした。2月に役員および評議員の改選を行い、役員は監事が1名代わり、評議員も1名が代わりました。井上貴雄理事長が退任し、山岸安志理事長が就任しました。

平成26年度決算報告

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

資金収支計算書

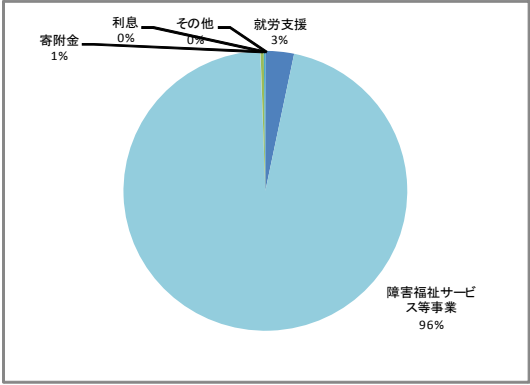
勘定科目		金額
事業活動による収支	収入	
	就労支援	8,589,274
	障害福祉サービス等事業	255,857,459
	寄附金	998,775
	利息	10,806
	その他	490,788
	収入計	265,947,102
支出	人件費	197,188,072
	事業費	22,785,236
	事務費	19,537,583
	就労支援	8,598,015
	その他	84,930
	支出計	248,193,836
事業活動資金収支差額		17,753,266
施設整備等に	収入	
	施設整備寄附金	0
	収入計	0
	支出	
その他の活動	固定資産取得	10,000
	支出計	10,000
施設整備等資金収支差額		-10,000
その他の活動	収入	
	その他	0
	収入計	0
	支出	
その他の活動	その他	0
	支出計	0
その他の活動資金収支差額		0
予備費		0
当期資金収支差額合計		17,743,266
前期末支払資金残高		67,356,272
当期末支払資金残高		85,099,538

事業活動計算書

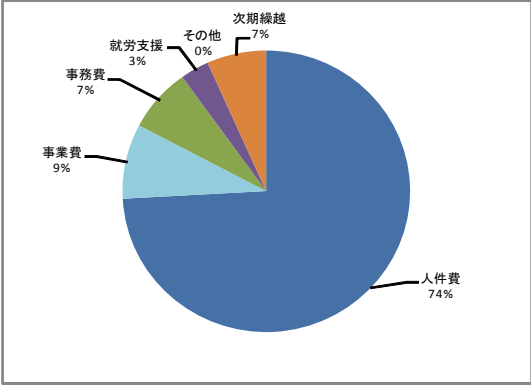
勘定科目		金額
サービス活動増減の部	収益	
	就労支援	8,589,274
	障害福祉サービス等事業	255,857,459
	寄附金	998,775
	その他収益	0
	収益計	265,445,508
	費用	
	人件費	197,188,072
	事業費	22,785,236
	事務費	19,537,583
サービス活動外増減の部	就労支援	8,598,015
	減価償却	2,411,981
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-540,194
	費用計	249,980,693
サービス活動増減差額		15,464,815
増減の部	収益	
	借入金利息補助金	0
	受取利息配当金	10,806
	その他サービス活動外	490,788
	収益計	501,594
	費用	
特別増減の部	その他サービス活動外	84,930
	費用計	84,930
サービス活動外増減差額		416,664
経常増減差額		15,881,479
特別増減の部	収益	
	施設整備等寄附金	0
	収益計	0
	費用	
	固定資産売却損・処分損	0
	国庫補助金等特別積立金積立額	0
繰越活動増減の部	費用計	0
	特別増減差額	0
当期活動増減差額		15,881,479
繰越活動増減の部	前期繰越活動増減差額	3,110,287
	当期末繰越活動増減差額	18,991,766
	基本金取崩額	0
	その他の積立金取崩額	0
	その他の積立金積立額	0
	次期繰越活動増減差額	18,991,766

貸借対照表

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	100,886,324	流動負債	15,786,786
現金預金	59,028,020	固定負債	25,966,250
その他の流動資産	41,858,304	負債の部合計	41,753,036
固定資産	44,107,133	純資産の部	
基本財産	10,000,000	基本金	81,599,152
その他の固定資産	34,107,133	国庫補助金等特別積立金	2,649,503
		その他の積立金	0
		次期繰越活動収支差額	18,991,766
		(うち当期活動収支差額)	15,881,479
		純資産の部合計	103,240,421
資産の部合計	144,993,457	負債及び純資産の部合計	144,993,457

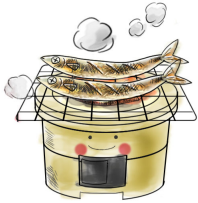


事業活動による収支



季節のコラム

食欲の秋



気候も落ち着き大分過ごしやすくなりました。秋といえば「スポーツ」、「芸術」、「読書」、そして「食欲」です。

今回は「食欲の秋」から。様々な食べ物が旬を迎えますが、やはり秋といえばこの味覚は外せません。さんまについてです。漢字で書くと「秋刀魚」、ちなみにこの漢字を使うようになったのは大正時代からだそうです。由来は秋に旬を迎え、銀色で細長い魚体が刀を連想させるという事からだそうです。一般に食用とされるようになったのは江戸時代から。

「さんまは目黒にかぎる」でお馴染みの江戸落語『目黒の秋刀魚』、この唄にちなんで目黒のさんま祭りが毎年開かれているのも有名ですね。小津安二郎監督の遺作になった映画『秋刀魚の味』（劇中に秋刀魚を食べるシーンはありませんが、佐藤春夫の詩『秋刀魚の歌』、夏目漱石の『吾輩は猫である』には主人公の猫がさんま（作中では三馬となっています）を盗み食いするというシーンがある、といったように度々題材にされるとても馴染み深い魚です。

そもそも、何故秋が旬かというと産卵期を迎え脂が乗り切っているからです。このまるまると太ったさんまの群れが北から徐々に南下してきます、それが私達の口に入るという訳です。

では実際にどのようにして食べるかといえば、私は何と言っても塩焼きが一番です。焦げ目をよく付けて焼き上げた身を、内蔵の苦味と一緒に、ポン酢や醤油をかけた大根おろしを添えて食べれば、それだけで幸せです。残る物は頭と中骨だけで徹底的に食べ尽くします。

他には新鮮な物は刺身でも美味しく頂けますし、フライにしても美味しく、様々な調理法を調べてみるのも楽しいですね。

昔からさんまを食べると頭が良くなる、など言われてきました。これは脳細胞の活性化、目の網膜活性化に効果があると言われているからです。またDHA（ドコサヘキサエン酸）が多く含まれ、悪玉コレステロールを減らし、動脈硬化の予防、改善、脳卒中・高血圧などの生活習慣病の予防に効果があるとされています。EPA（エイコサペンタエン酸）は血液をサラサラにするはたらきがあり脳血栓や心筋梗塞の予防に効果があります。他にも多くの栄養を含んだとても体に良い食材です。

今、買い物に行けば沢山のさんまが店先に並んでいる事でしよう。新鮮な物を選んで食卓で美味しく頂き、秋の味覚を楽しんでみませんか。



すぎた ちえこ
杉田 千恵子 (非常勤)

1 階 : (日) 宿泊

たかくら めぐみ
高倉 慈 (非常勤)

1 階 : (火)(土) 宿泊
(月) 夕方支援



やまもり のぶこ
山森 信子 (非常勤)

1 階 : (火)(水)
朝支援

せい の さつき
清野 早月 (非常勤)

1 階 : (火)(金)
夕方支援



なかがわ はるこ
中川 治子 (非常勤)

1 階 : (月)(木)(金)
朝支援

まつうら りつこ
松浦 律子 (非常勤)

1 階 : (水)(金) 宿泊



さ の く に こ
佐野 邦子 (非常勤)

1 階 : (土)(日)
日中対応

ほそかわ たけやす
細川 武保 (所長)



こたに たかこ
小谷 貴子 (常勤)

1 階担当



ひらまつ みつよ
平松 光代 (非常勤)

1 階 : (水)
2 階 : (金)(日)
夕方支援

やまねっとほーむ林間の 職員を紹介します!!

すぎうら ひでお
杉浦 秀夫 (非常勤)

2 階 : (火)(日) 宿泊



しお の く に こ
塩野 邦子 (非常勤)

1 階 : (木)
2 階 : (火)
夕方支援



ほりえ すみこ
堀江 澄子 (非常勤)

2 階 : (土) 日中対応

こばやし かずと
小林 和人 (非常勤)

2 階 : (水)(金)
(土) 宿泊



おおにし こ
大西 みつ子 (非常勤)

2 階 : (月)(水)(木)
(土) 夕方支援



いしぐろ かおり
石黒 香織 (非常勤)

2 階 : (日) 日中対応



やまねっとほーむを知ろう

南林間にあるやまねっとほーむ林間。駅から歩いて5分ほどのところにあります。
1階5名2階5名の合わせて10名の方が暮らしています。



「やまねっとほーむ林間」は、平成25年3月1日にオープンした知的障がい者のグループホームです。（身体障がいを重複している方もいます。）
「やまねっと」の作業所に通っている利用者の皆様から、生活の場（グループホーム）を作ってほしいとの強い要望があり、「やまねっと」としては初めてのグループホームの誕生となりました。
建物は延床面積が約100坪の木造2階建て、1階5名、2階5名の合わせて10名の方が生活しています。大家さんのご厚意により、一般的なグループホームに比べるととても広く作って頂き、リビング兼食堂は約19畳もあり、廊下や階段、トイレも広く車イスも余裕をもって通ることが出来ます。本当に感謝をしております。
支援をする職員の配置ですが、1年365日毎日、1階と2階に一人ずつ宿泊の職員がおり、夕方の時間帯には食事作りを中心に、もう一人ずつ支援の職員が配置されています。また、必要に応じて各作業所から、入浴支援などの職員の応援も頂いております。
グループホームは入所施設と違い、入居者ひとり一人のプライベートな空間（居室）と時間（基本的には入浴や食事、就寝時間、起床時間等が自由）と行動（外出や外泊等の自由）が確保されている点が特徴です。ただ、共同生活ですので当然、他の入居者の生活に影響を与えないように生活のルールがあります。そして、「自分で出来る事は自分でする」ことがグループホームの基本で、苦手なことや難しいことなどを支援員が支援することになっています。
「やまねっとほーむ林間」に入居されている方は、比較的支援度が高い方が多いので、食事の提供はもちろんです。が、ほとんどの方が入浴支援、洗面、歯みがき、洗濯、衣類の整理整頓、居室の掃除、小遣いなどお金の管理、健康管理（通院介助）などの生活全般の支援を受けています。
休日や祝日などの過ごし方については、日中の支援を行うために1階と2階に一人ずつ職員が配置されていますが、ひとり一人の余暇の過ごし方を充実させるために移動支援のヘルパーを利用する方が増えてきています。
ホームが出来てから2年半が経ちますが、入居者ひとり一人がホームでの生活を実感し、順応してその人のペースで生活を送っています。これからも入居者ひとり一人の個性と、その人にあった生活のスタイルを尊重して、穏やかで安心できる生活の場を提供できるように努めていきたいと思っています。（細川）

ホームの1日



① 帰宅

16時～16時30分みなさんホームに帰宅します。送迎車や自分で帰る人まちまちです。



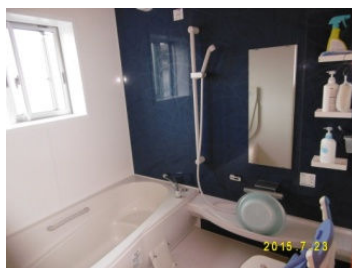
④自由時間

リビングでテレビを見たり、自室でくつろいだりしています。

⑤就寝

おつかれさまでした。

夕食後のひととき



②入浴

夕食前に入る人、後に入る人。個人のペースで入浴しています。



③夕食

18時。1階と2階それぞれで食べます。
写真は1階の食事風景。
この日は手作り餃子パーティーでした！



⑥朝食

各階でいただきます。
その後は通所準備。

⑦出勤

8時30分～9時に出勤
元気に出発します。

